

2015年8月28日

JR 東日本秋田支社

「新しい鉄道林」植樹式の開催について

JR 東日本秋田支社には、吹雪や土砂崩れなどの自然災害から鉄道を守る鉄道林が474ヘクタールあり、100余年の歴史を有しております。

このたび、鉄道林の更新の取り組みの一環として、奥羽本線鹿渡駅～森岳駅間において、「新しい鉄道林」の植樹式を開催します。

当日は秋田県副知事 中島英史様、三種町長 三浦正隆様のご列席をいただき、地元小学生やJR関係者を中心に約800名による植樹を予定しています。

1 開催日時

2015年9月5日（土）13時30分から15時10分まで〔雨天決行〕

2 開催場所

奥羽本線 鹿渡駅～森岳駅間
鹿渡6号鉄道林地内
(秋田県山本郡三種町森岳字街道西地内)

3 参加者（予定）

(1) ご来賓

秋田県副知事	中島	英史	様
三種町長	三浦	正隆	様
米代西部森林管理署長	相沢	肇	様

(2) 出席者

東日本旅客鉄道株式会社			
取締役会長	清野	智	
代表取締役副社長	柳下	尚道	
執行役員秋田支社長	白石	敏男	

(3) その他

三種町内の小学生（4～6年生 約260名）
JR社員等（社員の家族、グループ会社社員含め約540名）

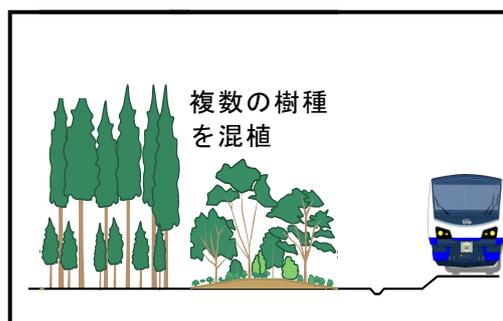
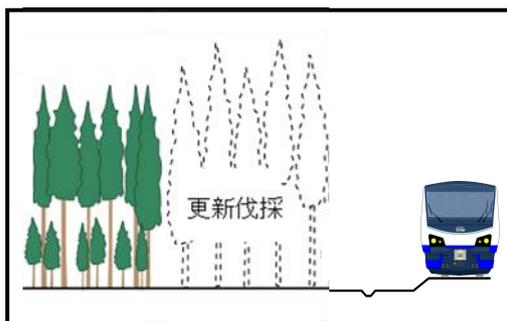


4 植樹内容

2,500㎡の敷地にミズナラ、ケヤキ、ヤマモミジ等、15種類、約7,500本を植樹します。
※植樹式は、東京大学の島村誠特任教授にご指導をいただき、その土地本来の樹種（潜在自然植生）で植樹を実施します。

5 「新しい鉄道林」の取り組みについて

2008年度からスタートした「新しい鉄道林」の取り組みは、線路の防災と沿線の環境保全の両立を目的とし、更新時期を迎えた鉄道林の植え替えを約20年かけて行います。その土地風土にあった複数の樹種を混植させることで、多様性があり、生態系として強い鉄道林を形成しています。



6 植樹式会場案内図



7 参考写真



鹿渡6号林の現況



2010年5月に行った神宮寺2号林での植樹式の様子